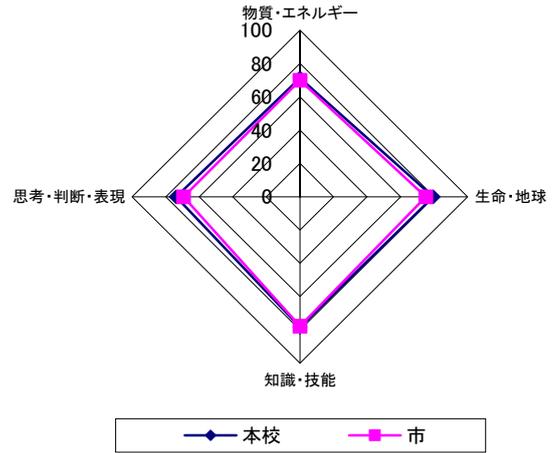


宇都宮市立横川中央小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	71.3	69.9	67.8
	生命・地球	79.4	75.1	73.7
観点別	知識・技能	78.3	77.8	78.4
	思考・判断・表現	73.8	69.4	66.2

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<p>○校内正答率は71.3%で、市の平均を1.4ポイント上回った。</p> <p>○「電流の強さと電磁石のはたらきの関係を調べるためには、どの実験を比較すればよいか指摘する。」について問う設問では、校内正答率が68.3%で市の正答率を11.5ポイント上回った。</p> <p>●「ふりこの実験結果から、条件を変えたふりが1往復する時間を推測する。」について問う問題では、校内正答率が57.3%で市の正答率を6.0ポイント下回った。</p>	<p>・学習内容に日常生活の場面を取り入れて授業を行ってきたことで、具体的な場面を想定し考え理解する力が高まったと考えられる。今後も日常生活の事象を大切に授業展開を実践していく。</p> <p>・対照実験を行う際には、条件を揃えることの必要性に触れ、目的をはっきりさせながら実験を行うようにする。具体的には、同じにする条件と変える条件を児童一人一人に考えさせ、条件の統一を確実に身に付けるようにする。</p>
生命・地球	<p>○校内正答率は79.4%で、市の平均を4.3ポイント上回った。</p> <p>○「観察カードの月のようすから、月を観察した時刻を推測する。」について問う設問では、校内正答率が72%で市の正答率を12.1ポイント上回った。</p> <p>●「くきを縦に切ったときの断面の水の通り道のようす」について問う問題では、校内正答率が73.2%で市の正答率を4.8ポイント下回った。</p>	<p>・月の満ち欠けに関しては、自作のモデルや動画を活用したりするなどして対応し、視覚的に分かりやすくしたため、理解が高まったと言える。</p> <p>・「植物のつくりとはたらき」などの知識を問うような設問に対しては、キーワードや観察した図をノートに整理して記入させたり、映像資料や図書資料等も活用したりして、くきの中の水の通り道を理解させるようにしていきたい。</p>